

(令和6年度補正分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 奈良県桜井市
本事業の担当部署名 こども家庭部こども政策課

事業メニュー		結婚_妊娠_出産_子育てに温かい社会づくり・気運醸成事業					
区分		重点メニュー					
関連事業メニュー		3.2.2 地域全体で結婚・子育てを応援する気運醸成					
個別事業名		桜井市結婚・子育て応援気運醸成事業				新規／継続 (一般財源での実施も含む)	新規
実施期間		令和7年4月1日		～ 令和8年3月31日		事業開始年度	令和7年度
総事業費(A)(円)		739,268		寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0	差引額(A-B)(円)	739,268
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額		739,268					
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費
	総事業費	0	0	0	0	0	0
	対象経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	区分	委託料	使用料及び賃借料	備品購入費	負担金	補助金	計
	総事業費	692,868	46,400	0	0	0	739,268
	対象経費支出予定額	692,868	46,400	0	0	0	739,268
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。					
	自治体における少子化対策の全体像及びその 中での本個別事業の位置付け		<自治体における少子化対策の全体像>※全事業共通 本市の令和4年の出生数・婚姻数は5年前と比較するとそれぞれ約18%、約26%減少しており、少子化がかなり進んでいる状況であるため、少子化対策の部署を含めたこども家庭部を令和6年度に新設した。 令和6年度から結婚支援ボランティアの養成を始め、結婚を希望する方から結婚後の悩みを持つ方まで、結婚に関連する様々な相談事に寄り添うことができる体制の構築に取り組んでいる。また、結婚新生活支援事業も同時に開始し、経済的不安から結婚に踏み切れない方に対して補助を行うことにより、結婚しやすい環境を整備している。 <本個別事業の位置付け> こどもまんなか月間にこどもや子育て世帯を中心とした全世代を対象としたイベントを実施し、そのイベントに結婚支援ボランティアも携わることで、地域全体で結婚、妊娠・出産、子育てを応援する温かいまちづくりの気運を醸成する。				
個別事業の内容	番号	項目	内容				
	1	イベントの開催	町おこしの一環として全国様々な地域で開催され、開催のたびに大盛況となっているティラノサウルスレースを、「(仮称)陽だまりスマイルレース～みんなでつなぐ こどもまんなかの輪～」という名称で、こども・子育て世帯を中心とした全世代向けのイベントとしてこどもまんなか月間に実施する。こどもから大人まで楽しめるイベントを実施し、市のこども家庭センターや子育て施策などの広報も同時に行い、結婚支援ボランティアにもイベントに参画してもらって本イベントと同時に婚活イベントを行う。さらに、食を通じてこどもを応援することを目的としたフードドライブもあわせて実施することで、イベントの参加者だけではなく幅広い世代に参加してもらい、地域全体で結婚、妊娠・出産、子育てを応援しているということをPRする。 ・参加予定人数:50～100名ほど ・対象:こどもと子育て世帯を中心とした全世代				
	2						
	3						
	<過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)>						

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	婚姻件数		件	200 (R10年度)	173 (R5年)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.3 (R4年)	
	婚姻件数		件	173 (R5年)	
	婚姻率			3.1 (R5年)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	①	イベント参加者割合(予定人数比較)	%	50 (R7年度)	---
	②				
	③				
	④				
	⑤				
		(アウトカム)			
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	60 (R7年度)	---
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	---	---
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	50 (R7年度)	---
	④	社会から結婚・子育てを応援されていると感じた人の割合	%	50 (R7年度)	---
	⑤				
	⑥				
	⑦				
	⑧				